

30日機輸通投第206号

平成30年10月19日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

中国経済セミナー
「中国から見た中米（米中）関係の展望」のご案内
＜組合員限定＞

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年に入ってから、米中間の貿易不均衡や中国の知財侵害等を理由とした米国の対中制裁関税と、それに対する中国の対米報復関税の発動が相次ぐなど、米中間では貿易紛争がエスカレートしており、今後の世界経済に与える影響が懸念されます。

米中は貿易経済面で世界最大級の二国間関係を構築しており、また、留学など人的交流の歴史も深く、その規模も世界最大クラスになっています。しかし、そうした現実現在の米中関係にとってほとんど意味を持っておらず、目下の米中対立はIMF・世銀・WTOの主導による自由貿易体制や欧米型民主主義等の価値観が転機を迎えていることの反映のようにも見られます。また、中国の対外影響力の増大とともに米中間で価値観の相違が顕在化してきたことで、ポスト冷戦体制後の主導権・覇権争いの様相が鮮明化してきたとの見方もあります。そして、今後もポスト冷戦後の世界秩序が固まるまでは、米中間で摩擦・対立が繰り返し現れることも予想されます。

今後の米中関係の動向には不透明感が漂っていますが、米国の視点のみならず、中国から見た米中関係の展望を得ることは、たいへん有意義であると思われまます。

そこで今般、当組合では、中国経済及び経済社会学の専門家であり、香港に拠点を置くNew Asian Invesco Ltd.（ニュー・アジアン・インベスコ）董事総経理の森一道（もり・かずみち）氏を講師に迎えて、標記演題と下記内容により、セミナーを開催することとなりました。

組合員各位におかれては、ぜひこの機会をご利用いただき、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

◆日時：平成30年11月15日（木）14:00～16:00（開場13:30）

◆会場：機械振興会館6階 会議室6D-1～3（定員100名）
（東京都港区芝公園3-5-8）

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

◆テーマ・講演内容

「中国から見た中米（米中）関係の展望」

1. 中米（米中）摩擦の激化における中米対立の深層
2. 中国経済の成長パターン・質的变化の様相
3. ポスト冷戦体制の構築を巡る主導権・覇権争いの行方

◆講師：New Asian Invesco Ltd. 董事総経理 森 一道（もり・かずみち）氏
（当組合HPのメンバーズメニュー「月例中国経済現地報告」執筆者）

【※補】

「月例中国経済現地報告」は、当組合ホームページの「エマージング市場関連情報」に掲載しています。（本記事をご覧いただくには、メンバーズ会員への登録が必要となります。）<http://www.jmcti.org/trade/bull/emerging.htm>

◆講演概要

2017年秋の共産党大会で、習近平氏は人事、党規約、政策などで独自色を鮮明にしつつ、政権第二期目に入った。今年春の全人代では、新たな政府人事を発表し、憲法も改正した。また、今世紀半ばまでの長期構想も打ち出した。ところが、それ以降、米国との通商摩擦が浮上し、そうした構想は脇に追いやられている印象がある。本セミナーでは、同問題を中国側の中長期プランの中で位置づけ、検討してみたい。

中米（米中）摩擦の要因として、貿易不均衡や中国の知財侵害などが指摘されているが、それらは今に始まった問題ではない。そこから、トランプ米大統領の性格、思想・政治観、政策遂行のスタイル、同大統領の再選がかかるともいわれる中間選挙対策など、もっぱら同大統領にその原因を帰する向きがある。また、米国側が第二期目の習体制の成立を、覇権争いの号砲と捉えたためと理解する向きもある。

一方、中国にとって対米摩擦の激化は、間違いなく想定外の出来事である。だが、中国にとって、その困惑はおそらく全面的ではない。習氏にとって最大課題の一つである新型大国関係の実現を阻む要因としては大問題である。しかし、経済面で問題かといえば、議論の余地は大きい。中国は、なおも世界最大級の貿易額を計上する世界の工場であり、その故に中米摩擦は地球大の問題になっているが、中国経済が外需依存であるかといえば疑問符がつく。経済の成長パターンを内需主導に転換し、また、経済成長至上主義を退け、社会調和を最優先課題とする胡錦涛政権以来の政策にもそれは現れている。習氏は、自らの路線をニューノーマル（新常态）という言葉で表している。実際のところ、今年の成長率目標が達成されるのは間違いない。

中米摩擦の今後については予断を許さないが、仮に妥協点を見出したとしても、体制の違いもあり、根本的な解決にはほど遠いと推測される。中米の狭間に置かれている日本にとっても、重要な岐路にあるといえる。

◆参加費：無料（組合員限定）

※受講票の発行はございませんので、セミナー当日は名刺を受付にお渡しください。

※講演内容の録画、録音等は固くお断り申し上げます。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、11月9日（金）までに、当組合ホームページからお申込みください。定員となり次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。

(<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#naigai>)

◆キャンセル方法

下記事務局までメール又は電話にてご連絡ください。

◆備考

本講演は、当組合大阪支部の「成長市場対策委員会」（日時：11月14日（水）午後）においても開催を予定しています。

◆お問合せ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、長岡

TEL：03-3431-9348 E-mail：tohshi@jmcti.or.jp

以上